

主な内容

- 2～5面
 - ・一般質問
 - ・常任委員会審査報告
 - ・特別委員会概要
- 6面
 - ・議決結果一覧
 - ・陳情



▲拡幅整備が行われた狭あい道路

建設環境委員会で審査され、質疑に対し、「市道で後退を要するところが約85キロメートルあり、私道についても7キロメートルほどある。また、隅切りを要する箇所は、多数あると認識している」「奨励金、助成金の基準を定める上で、路線価の評価額に合わせ、後退用地は10分の1、隅切り用地は2分の1とすることを

定めていきます。また、拡幅整備工事を行った場合に、後退用地・隅切り用地について寄附又は無償供用の承諾を行った者が、当該用地の内にある物件の除却または移設を行ったときは、それに要した費用について助成金を交付できることを、後退用地等を寄附した者には奨励金を交付できることを定めています。

今定例会で市長から、「府中市狭あい道路の拡幅に関する条例」についての議案が提出されました。この議案は、狭あい道路の拡幅を推進し、市民の生活環境の向上を図り、安全で快適な災害に強いまちづくりを実現するため、条例を制定するものです。

令和3年第4回定例会 府中市狭あい道路の拡幅に関する条例など 31議案を審議

令和3年第4回市議会定例会は、11月29日から12月15日までの17日間の会期で開催されました。市長提出議案は、府中市狭あい道路の拡幅に関する条例など28件を審議した結果、すべて可決となりました。議員提出議案は3件を審議した結果、可決2件、否決1件となりました。また、陳情6件が審議されました。

意見書（要旨）

◎沖縄戦戦没者の遺骨等が混じる土砂を埋立てに使用しないよう政府に求める意見書

沖縄戦では一般住民を巻き込んだ悲惨な地上戦が行われ、沖縄県民の4人に1人、そして日本全国から派遣された兵士の多くの貴い命が失われた。糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある「平和の礎」には、沖縄戦などで亡くなられた24万1593名の氏名が刻銘されている。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定し、最終日の本会議において、建設環境委員会委員長から審査報告があり、審議の結果、全会一致で可決されました。

さきの大戦で犠牲になった人々の遺骨が入った土砂を埋立てに使用することは人道に絶対に対すことはできない。よって、本市議会は、政府に対し、沖縄戦戦没者の遺骨が混じる土砂を埋立てに使用しないよう求める。

定例会日誌

(次の日程で開催しました)

- <11月>
 - 29日 本会議（委員会付託等）
 - 30日 "（一般質問）
 - <12月>
 - 1日 "（ " ）
 - 2日 "（ " ）
- 公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会
- 3日 総務委員会
 - 6日 文教委員会
 - 7日 厚生委員会
 - 8日 建設環境委員会
 - 9日 基地等跡地対策特別委員会
 - 10日 市庁舎建設特別委員会
 - 13日 学校施設老朽化対策特別委員会
 - 15日 本会議（常任・特別委員会審査報告等）